

都市計画の案の理由書

1. 種類・名称

東京都市計画道路 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 1 号線 ほか 5 路線

2. 理由

大山駅周辺地区は、板橋区都市づくりビジョンにおいて、「都市づくり推進地区」に位置付けられており、「東武東上線の立体化の促進」、「駅前広場の整備とにぎわい・交流拠点の形成」などの都市づくりの展開方針が示されている。

また、平成 29 年 12 月に策定した「大山駅周辺の交通ネットワーク構想」において、補助第 26 号線の整備及び鉄道立体化を見据えるとともに、駅前広場の整備などと連携し、適正な道路の機能分担と交通のすみ分けにより、安心・安全な地区の形成、アクセスの向上、にぎわいの維持・向上などに寄与する駅周辺の交通ネットワークをめざすとし、鉄道敷地に沿って自転車・歩行者等の動線を確保し、駅へのアクセスをしやすくするなどとしている。

一方、東京都では、踏切における交通渋滞や鉄道による地域分断等の問題を解決するため、平成 16 年 6 月に「踏切対策基本方針」を策定し、東武東上線の大山駅付近について、連続立体交差事業を進めていくこととしている。

これらのことから、板橋区において、東武鉄道東上本線大山駅付近の連続立体交差化計画にあわせて、沿線の良好な住環境の保全や地域の利便性の向上を目的として、都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 1 号線ほか 5 路線について都市計画決定するものである。